

第1回「知事と一緒に生き活きトーク」の発言要旨

- 1 テーマ：教育県岡山の復活
- 2 日時：平成25年2月4日（月）14：00～15：25
- 3 場所：県立博物館 講堂
- 4 参加者：公立中学校の生徒指導担当教諭 8名
- 5 意見内容：

(1) 中学校における問題行動の実態

- ・各校で状況は多少異なるが、ほぼ全学校で数名の生徒が授業に入っていない。
- ・授業に入れない生徒には、他の教諭が別室で個別に対応している。
- ・スイッチ、ガラス、ロッカー等の器物損壊も結構ある。
- ・対教師暴力や授業妨害は少なくなっているが、発生事例はある。
- ・体罰問題もあり、厳しい指導は難しい。保護者の理解が得られない。

(2) 落ち着いた学習環境を取り戻すための意見・提案（要望）

①意見

- ・環境整備は最も基本的なこと。壊れた箇所（ガラス、トイレ等）は直ぐに直す。
- ・生徒指導においてペナルティは効果がない。マイナスでしかない。
- ・時間をかけて話をして落ち着かせることが必要である。1対1の信頼関係を徹底的に築くことが必要である。
- ・問題行動のない生徒を評価し、気にかけてやることも必要である。

②提案（要望）

- ・現場にもっと教員数が必要である。
- ・中1で35人学級をぜひ実現してほしい。
- ・校務分掌や事務処理の簡素化を考えていくのも一つの方法である。
- ・大学生が学校に入って、放課後の学習支援に当たることは有効である。
- ・小学校1年生からの生徒指導上の記録、カルテみたいなものがあれば良い。
- ・小中連携により、小学校6年から中学校生活への準備をし、慣れてもらう。

(3) 知事提案についての意見

提案内容：「問題行動のある生徒を集めて一つの教室を作り、つまづいたところをやり直すというのはどうか。」（運営の民間委託、学費の公費負担案も含め）

- ・家庭の経済的な負担をどうするかが問題である。
- ・素晴らしいアイデアだと思う。
- ・早い段階で必要だ。家庭がそれに乗ってくれたら家庭の力にもなる。
- ・そういう受け皿へ行かなくて良いように指導しなければいけない。